

第 73 回秋季北海道高等学校野球大会小樽支部予選戦績

9 月 1 2 日 (土)

1 回戦 ○ 樽水産 5－3 樽未創

対戦校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
樽水産	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5
樽未創	1	0	0	1	0	0	0	1	0	3

投手－捕手：山田・相馬（8 回）－木島・山田（8 回）

2 塁打：仁保（2 回）

部員 9 人に助っ人 3 人を加えて臨んだ今大会。

初回の攻撃は、先頭が安打で出塁。犠打で 1 死 2 塁とチャンスを作るも後続が凡退し、無得点。続く裏の守備。1 死から安打と失策で 1・2 塁のピンチを迎える。2 死までこぎ着けるも、打ち取った当たりが前進守備の外野手の頭上を越える 2 塁打となり、先制点を許す。すぐさま追いつきたい 2 回表の攻撃。3 四死球で無死満塁とし、打席には助っ人の 8 番藤原（2 年）が入る。藤原は、出場予定だった選手が試合開始直前に負傷したことにより、急遽出場が決まったのにもかかわらず、プレッシャーをものともせず、見事に 1・2 塁間を破る 2 点タイムリーを放って逆転に成功。その後も、2 塁打を含む 2 安打、犠飛で 3 点を追加。この回、一挙 5 点を奪い、優位に立つ。しかし、3 回以降は 1 安打 2 四死球、3 者凡退が 4 回と打線が沈黙。守備でも、4 回・8 回に 1 点ずつ失い、じりじりと追い上げられる苦しい展開に。それでも、何とかしのいで試合終了。

攻撃力、守備力、投手力等、多くの課題が残るものの、新チーム公式戦初勝利を飾った。

9 月 1 6 日 (水)

2 回戦 ● 樽水産 1－2 倶知安

対戦校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
樽水産	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
倶知安	1	0	0	0	0	1	0	0	×	2

投手－捕手：山田－木島

雨により、2 日順延して行われた試合。

初回、先頭が安打で出塁するも、犠打で送ることができずに 1 死。しかし、四球と失策が絡んで何とか 1 点を先制する。続く 1 回裏、1 死から四球で出した走者を、犠打で送られ 2 死 2 塁。ここで、打ち取った内野フライを捕ることができず、記録は安打となり、あっさりと同点に追いつかれてしまう。攻撃では、3 回・5 回とチャンスを作るも、あと 1 本が出ずに無得点が続く、嫌な展開に。逆に 6 回裏の守備では、先頭打者に 2 塁打を許し、ピンチを迎える。その後、三振振り逃げ等でアウトを取れず、犠打、スクイズで 1 点を失い、勝ち越しを許す。その後は、7 回裏のピンチをしのぐなど、少しずつ流れはこちらに傾き始めて迎えた 8 回の攻撃。安打に失策、四球が絡んで 2 死満塁の大チャンス。しかし、ここでもバットを振れずに見逃し三振。9 回にも 2 死満塁とチャンスを作るも、最後は空振り三振に倒れ、試合終了。

攻撃は、9 安打ながら 12 三振 12 残塁。守備では、粘り強くしのいだ場面もあったが、要所での四球や暴投が響いた。いずれも、力不足を痛感する試合となった。